

給与支払報告 特別徴収に係る給与所得者異動届出書 (普通徴収記載例)

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

秩父市長 殿 令和××年○○月△△日提出		(特別徴収義務者) 給与支払者	住所(居所)又は所在地	〒 012-3456 ○○県××市△△1-2-3														
			フリガナ	カブシキガイシャ マルバツショウジ														
			氏名又は名称	株式会社 ○×商事														
			代表者の職氏名	代表取締役 特徴 太郎														
			個人番号又は法人番号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
			受給者番号(整理番号)	フリガナ	給与所得者													
			氏名	スズキ イチロウ														
123456	氏名	鈴木 一郎 (旧姓)																
生年月日	昭和・平成 50年 1月 1日																	
個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2																	
1月1日現在の住所	○○県××市△△3-2-1																	
給与の支払いを受けなくなった後の住所																		
			(ア) 特別徴収税額(年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額(ア-イ)	異動年月日												
			140,000	6 月から 8 月まで 35,600 円	9 月から 5 月まで 104,400 円	××・8・31												
						140,000												

1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度		
※市町村処理欄		
特別徴収義務者指定番号	1 2 3 4 5 6 7 8 ※市町村ごとに異なります	
整理番号	1234	
連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号	課・係	人事課人事労務係
	氏名	特徴 花子
	電話	000-000-0000 (内線 123)
異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収	退職した年の1月から退職時までの給与支払額
	① 退職 ② 転勤併職 ③ 合併職 ④ 休職 ⑤ 長期欠勤 ⑥ 死亡 ⑦ 会社解散 ⑧ 住所誤報 ⑨ その他(特別徴収不可)	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収(1月以降は必須) 3. 普通徴収理由 異動の事由のとおり
	1,200,000 円 控除社会保険料額 60,000 円	
※「9. その他(特別徴収不可)」を選択された場合は、次のいずれかの理由を必ず選択してください。		
1(普B)	他の事業所で特別徴収(例：乙欄適用者)	
2(普C)	給与が少なく税額が引けない	
3(普D)	給与の支払が不定期(例：給与の支払が毎月でない)	
4(普E)	事業専従者(個人事業主のみ対象)	

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載してください。

一括徴収の理由	
1. 異動が 年 12月 31日 までで、申出があったため(月 日 申出)	徴収予定 ・ 8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。 (ア)特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分) (イ)徴収済額 35,600円(6月から8月分) (ウ)未徴収税額 104,400円(9月から翌年5月分) ↑ 普通徴収税額
2. 異動が 年 1月 1日 以降で特別徴収の継続の希望がないため	

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※新規事業所の場合は記入不要です。)		連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号	課・係	新しい勤務先では 月割額 円を 月分から徴収し、納入します。 新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。 納付書 要・不要	※市町村記入欄
新しい勤務先の住所(居所)又は所在地	氏名				
フリガナ	電話				
氏名又は名称	(内線)				
代表者の職氏名					
法人番号					